

2024年10月25日

千葉銀行がパーソナライズ・レコメンデーションサービス 「Moneythor」を稼働開始

～「Moneythor」稼働環境の構築および運用を支援～

BIPROGYはMoneythor Pte. Ltd.（以下 Moneythor）と共同で提供するパーソナライズ・レコメンデーションサービス「Moneythor（マネーソー）」を千葉銀行へ導入し、2024年10月29日から稼働を開始します。

「Moneythor」は、金融機関が保有するデータを活用し、パーソナライズされたレコメンデーションやキャンペーン情報を最適なタイミングで配信し、デジタルチャネル上でお客さまとのエンゲージメントを強化することができるサービスです。

BIPROGYは、千葉銀行の「Moneythor」稼働環境の構築および運用を今後も継続して支援していきます。

【背景】

千葉銀行は「地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループ」をビジョンとして掲げ、お客さま中心のビジネスモデルへの進化に向けた取り組みを進めています。「ちばぎんアプリ」にてパーソナライズされた情報を提供し、お客さまとの双方向のコミュニケーションを行うことで、エンゲージメントの強化を目指し「Moneythor」の採用を決定しました。

また、千葉銀行は、「ちばぎんアプリ」上でお客さまとのより深い関係性の構築を目指しており、BIPROGYとMoneythorは、「Moneythor」の提供を通じて千葉銀行の新たな顧客体験の創出を支援します。

【概要】

BIPROGYは、「Moneythor」の導入と基盤運営の経験を生かし、千葉銀行の「Moneythor」稼働環境の構築を支援しました。2024年10月29日の稼働以降も、千葉銀行が目指す「最高の顧客体験の創造」が可能なアプリ機能実装に向け支援します。

千葉銀行の「Moneythor」導入において、今回以下の機能を実装しました。

1. 月次サマリー（収支、カテゴリー別支出額）

毎月決められたタイミングで前月の収支、ローンやクレジットカードなどの利用している金融サービスカテゴリー別の支出額に関するレポートを配信

2. 使いすぎアラート

当月の支出額が過去の支出平均を一定の割合以上で超過したタイミングにてアラートを配信

3. 支出額予算設定・予算超過アラート

月毎の予算を設定、予算を超過したタイミングで通知

4. 口座残高不足アラート

お客さま一人ひとりの収支パターンを分析し、キャッシュフローを予測

口座残高の不足が予測されるお客さまに対しアラートを出し、口座残高不足による引落し不能を未然に防止

5. ゲーミフィケーション（節約チャレンジ）

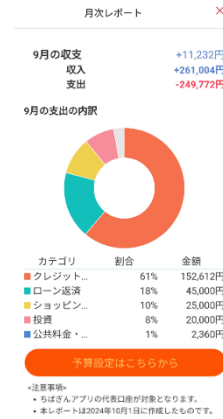
前月の支出額が過去の支出平均を一定以上の割合で超過したお客さまに対し、一カ月間の節約チャレンジを案内

6. 金融機関が簡易にコンテンツを作成できるようにするための汎用的なテンプレート

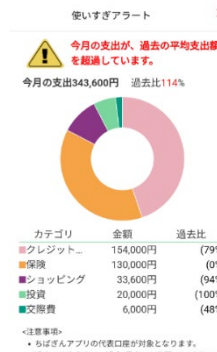
「Moneythor」管理画面の GUI^{※注}操作（ソースコードの開発作業無し）で、金融サービス紹介のコンテンツやアンケートを作成することが可能

<アプリ画面イメージ>

●月次サマリー（収支、カテゴリー別支出額）



●使いすぎアラート



【期待される効果】

1. お客さまとの接点の日常化

お客さまが「手放すことができない」便利なアプリへと進化させます。パーソナライズされたアドバイスやお金の管理をサポートするアプリ機能により、お客さまが毎日利用するアプリを実現させます。

2. お客さまとのより深い関係性の構築

双方向のコミュニケーションによりお客さまとの関係深耕をサポートします。従来人手で行っていたコミュニケーションをデジタルチャネル上で実現し、お客さまが自然な流れで能動的に金融機関と意思疎通する機会づくりを実現させます。

3. 金融サービス提案機会の拡大

お客さまへの金融サービス提案の仕方/視点を変革します。お客さまのお金に関わる自己認知や学び、意欲/きっかけの醸成に繋げるコミュニケーションを通じて、抵抗感のない自然な金融サービス提案と Life Time Value の向上を実現させます。

【今後の取り組み】

BIPROGY と Moneythor は、「Moneythor」の新たなサービスやユースケースを通じ、千葉銀行の「ちばぎんアプリ」の機能強化を継続して支援します。

BIPROGY は、本事業を全国の金融機関に向けて幅広く展開することで、金融サービスをより暮らしに寄り添った身近なものとして生活者に届け、生活の質の向上を通じて社会課題解決に貢献していきます。



※左から Moneythor CEO Martin Frick 氏、株式会社千葉銀行 代表取締役頭取 米本努 氏、BIPROGY 株式会社 代表取締役専務 葛谷幸司

以 上

※注：GUI

キーボードやマウスなどのポインティングデバイスで操作できるインターフェース

■関連リンク：

「株式会社千葉銀行」 <https://www.chibabank.co.jp/>

「Moneythor Pte. Ltd.」 <https://www.moneythor.com/press-release/>

「Moneythor パーソナライズ・レコメンデーションサービス」

<https://www.biprogy.com/solution/service/moneythor.html>

「千葉銀行の DX アプリ機能実装の内製化推進を支援」

https://www.biprogy.com/pdf/news/topics_240702.pdf

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/

Vision2030

わたしたちは、デジタルコモンズを
誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するしくみに育てていきます

私たちは志や共感をベースに持続可能な社会の実現を可能にするために、
さまざまなサービスやノウハウをデジタルの力でつなぎ合わせ、
社会の共有財であるデジタルコモンズとして創造し、提供していきたいと考えています。
その実現に向けて、ビジネスエコシステムのパートナーと共に
多様な業界、業種、マーケットの視点から社会に貢献することにより、新たな価値やマーケットの創出につなげていきます。